

差別事象に関する報告書

【概要】

2024（令和6）年7月5日（金）被差別部落の有無、地名等の問い合わせ電話がありました。

このことの経緯について報告いたします。

■発生日時：2024（令和6）年7月5日（金）午後3時50分頃

■発生場所：電話

＜内容＞

自分は名張市に最近来たばかりなのだが、名張市に被差別部落と呼ばれる地域はあるか。下比奈知がそういう地域だと聞いたが事実か。昔は市役所の職員採用試験でも同和枠という被差別部落の地域の人を特別に採用する枠があると聞いた。だから市役所の福祉部にはその地域に住んでいる職員がたくさんいると聞いた。また、昔あった同和対策事業にかかる予算は現在どのようになっているのか。また、他にもそういった被差別部落と呼ばれる地域はありますか。あるとしたらいくつくらいあるのか。

＜対応＞

なぜ、そんなことを聞くのか、目的が不明だったため「なぜそんなことを聞くのですか。目的はなんでしょうか。」と聞くと、「差別とかではなく、ただ、知りたいただけ。別にその地域の人と関わろうとかそんなこと思っていない。」とのこと。職員の採用に関しては、「聞いたことがない。憶測のお話ではないですか。住んでいる地域と採用は関係ないですもんね。」と返すと、「そうですよね。すみません。こんなこと聞いて。」と返された。最後に被差別部落という地域は他にもありますかと聞かれたので「どことか、何個あるとかお答えしかねます。」と返事。「そうですか。ありがとうございます。」と電話を切られ終話。

【経過】

■7月5日（金）午後3時50分頃 電話を受け室長へ報告。

■7月23日（火）市長、副市長、教育長へ報告。

■8月2日（金）庁内掲示板にて職員へ周知。

■8月14日（水）伊賀地域防災総合事務所を通じ三重県人権センター及び法務局へ報告。

■8月19日（月）各地区解放同盟へ報告。

【今後の対応】

再度、差別事象対応マニュアルの周知を行い、再度同じような問い合わせがあった際には、マニュアルに基づき対応する。